

1. 風水害について

大雨をもたらす現象

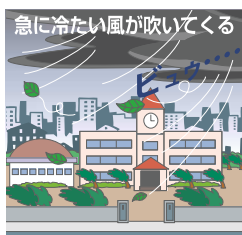
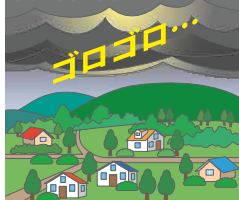
積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」な時（上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層がある時）に発生します。

積乱雲が近づくサイン

真っ黒い雲が近づいてくる

雷の音が聞こえてくる



まもなく、激しい雨と雷がやってきます。

河川や低い場所からすぐに離れましょう。

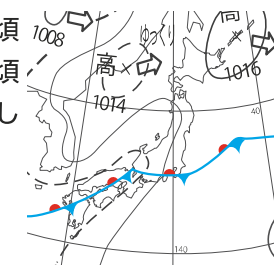
台風の接近

最も大雨を降らせるコースは、紀伊半島から東海地方へ北東進するものです。



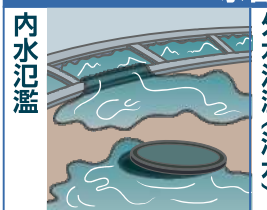
前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。



大雨によって発生する災害

水害



土砂災害



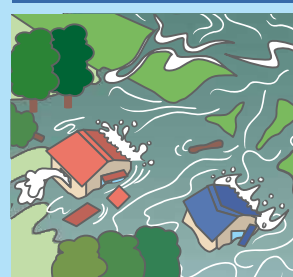
想定される被害

床下浸水・床上浸水



流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊



河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

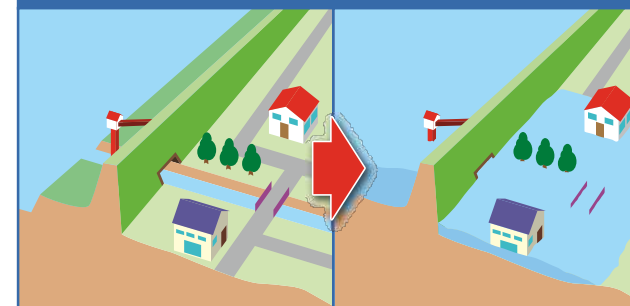
道路寸断



山間部では、土砂災害などで集落が孤立することもあります。

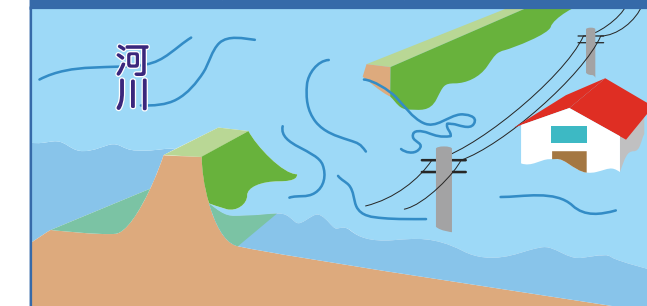
内水氾濫と外水氾濫(洪水)

内水氾濫



大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」と言います。

外水氾濫(洪水)



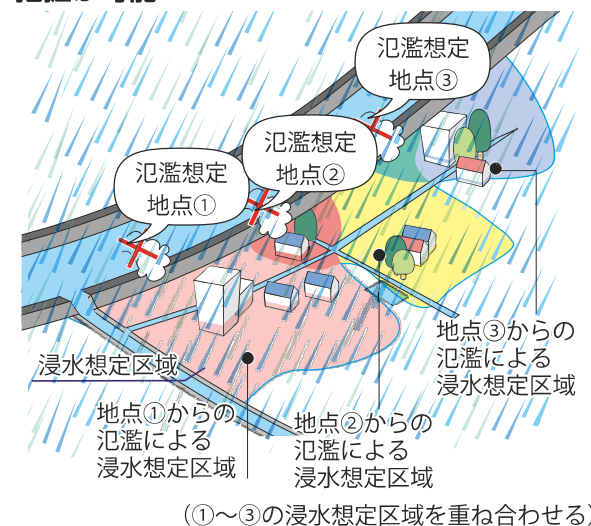
大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫(洪水)」と言います。

洪水浸水想定区域図と地先の安全度マップ

大雨によって想定される浸水区域については、滋賀県から「洪水浸水想定区域図」と「地先の安全度マップ」の2種類のシミュレーション結果が公表されています。

洪水浸水想定区域図

対象河川において想定される最大浸水区域の把握が可能



<想定する雨量>

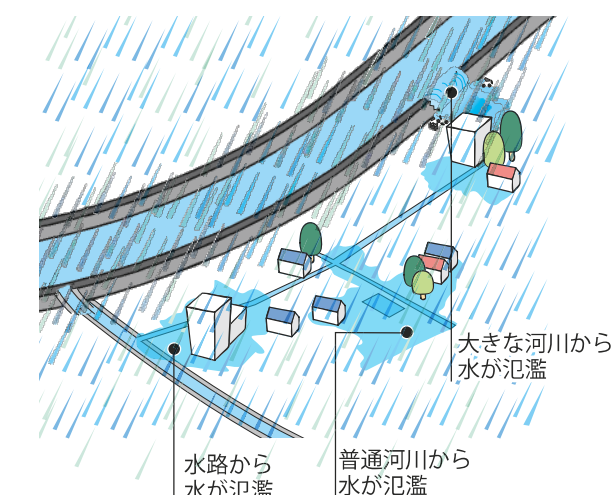
想定最大規模降雨【犬上川流域の24時間総雨量870mm】
想定最大規模降雨【芹川流域の12時間総雨量698mm】

<氾濫のシナリオ>

全破堤危険箇所において、上流側で堤防が破堤しない場合の河道内最大流量を考慮した氾濫を想定

地先の安全度マップ

内水氾濫を考慮した河川氾濫の把握が可能



<想定する雨量>

10年に一度の大雨【170mm/24hr(最大50mm/hr)】
100年に一度の大雨【529mm/24hr(最大109mm/hr)】
200年に一度の大雨【634mm/24hr(最大131mm/hr)】

<氾濫のシナリオ>

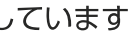
各破堤危険箇所において、順次上流で破堤した場合の河道内減少流量を考慮した氾濫を想定

2. 早期の立退き避難が必要な区域

家屋が倒壊するような氾濫や地面の侵食が発生するおそれがある区域や、家屋の最上階も水没するおそれのある区域は、早期の立退き避難が必要な区域です。このような区域では、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難指示などに従って安全な場所に速やかに避難してください。

早期の立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等 氾濫想定 区域 木造家屋などの現行の建築基準に適合する一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫などが発生することが想定される一連の区域。	氾濫流		堤防決壊や「氾濫流」による木造家屋の倒壊のおそれのある区域。
		河岸侵食		地面が削られて家屋が崩落するおそれのある区域。
	家屋が水没する おそれのある区域			最上階も水没するような浸水のおそれのある区域。

浸水継続時間が長い区域

浸水継続時間とは浸水深が50cm以上になってから50cmを下回るまでの時間を示したものです。「多賀町総合防災マップ」では、浸水継続時間が12時間以上の区域を斜線で表示しています。(洪水・土砂災害ハザードマップP25～P44) 浸水継続時間の長い区域で立退き避難を行わなかった場合、ライフラインが絶たれ避難生活が困難になるおそれがあります。

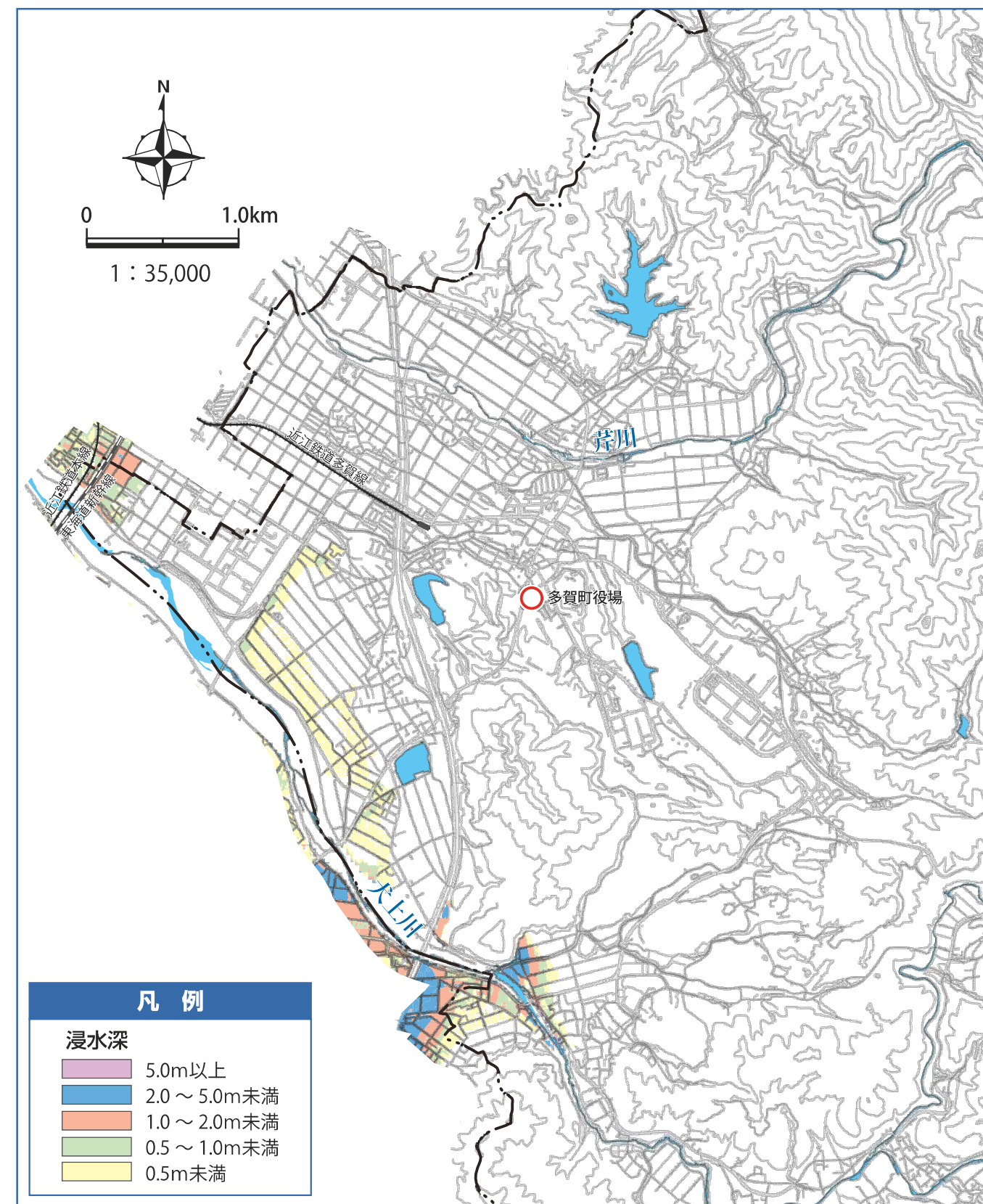
立退き避難が行われなかった場合の問題点



- ① 浸水継続時間が長期化した場合の問題**
 - ・浸水深が深い場合には、家から外に出られない
 - ・備蓄していても水や食料などがなくなる
 - ・衛生環境が悪化する
 - ・病人が出た場合に対応が難しい
 - ・定期的な診療を受けている人は診療を受けられない
- ② 電気、ガス、水道が止まることによる一般的問題**
 - ・停電などにより情報を得ることができなくなる
 - ・図に示すように生活環境が悪化する
- ③ 孤立した場合の問題**
 - ・体調を崩した場合の対応が難しい
 - ・情報を得られない場合不安になる

3. 犬上川洪水浸水想定区域図

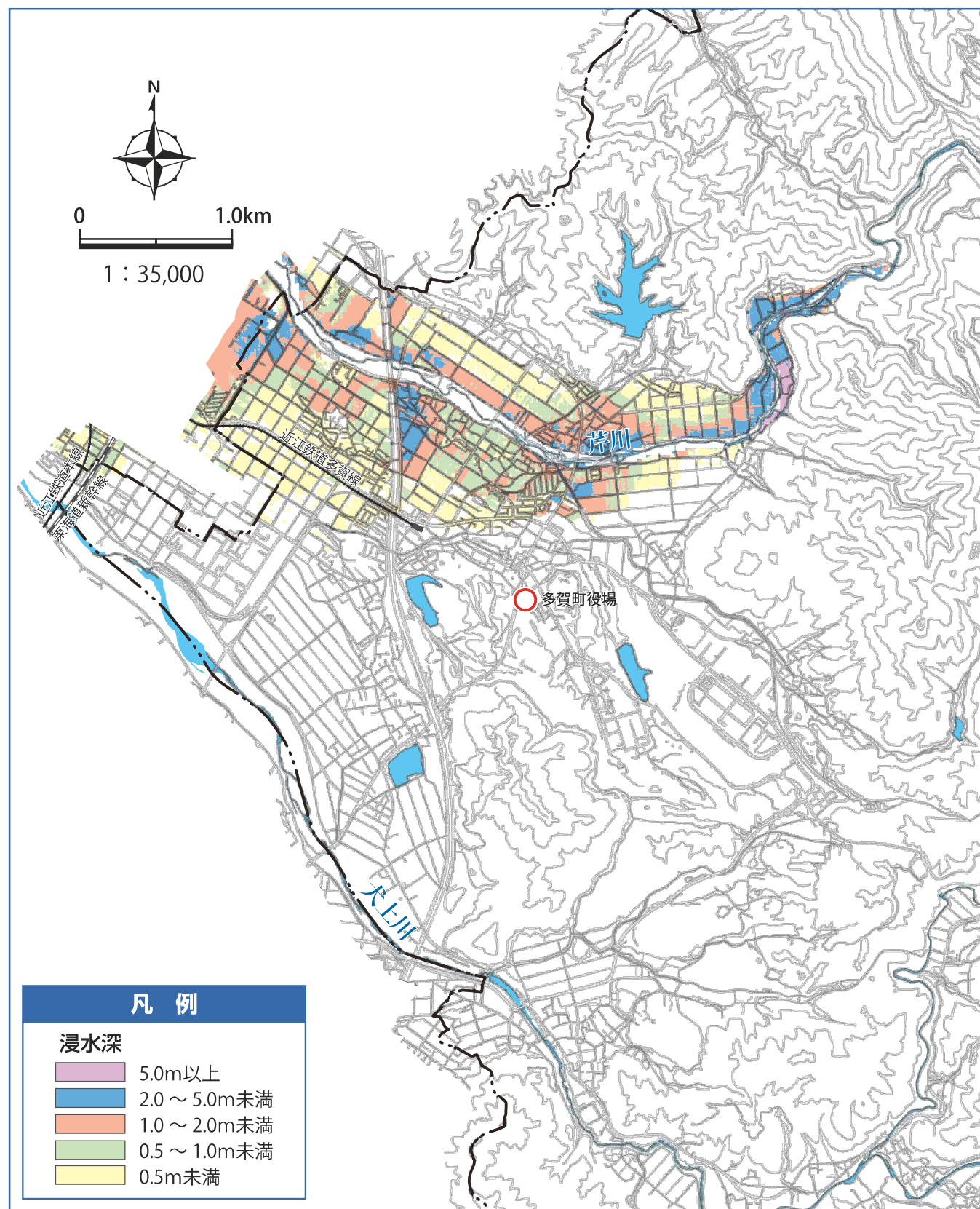
この地図は、想定最大規模降雨(犬上川流域の24時間総雨量870mm)時に、犬上川が氾濫した浸水深を示したものです。



出典：淀川水系 犬上川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模) 滋賀県(平成31年3月)

4. 芹川洪水浸水想定区域図

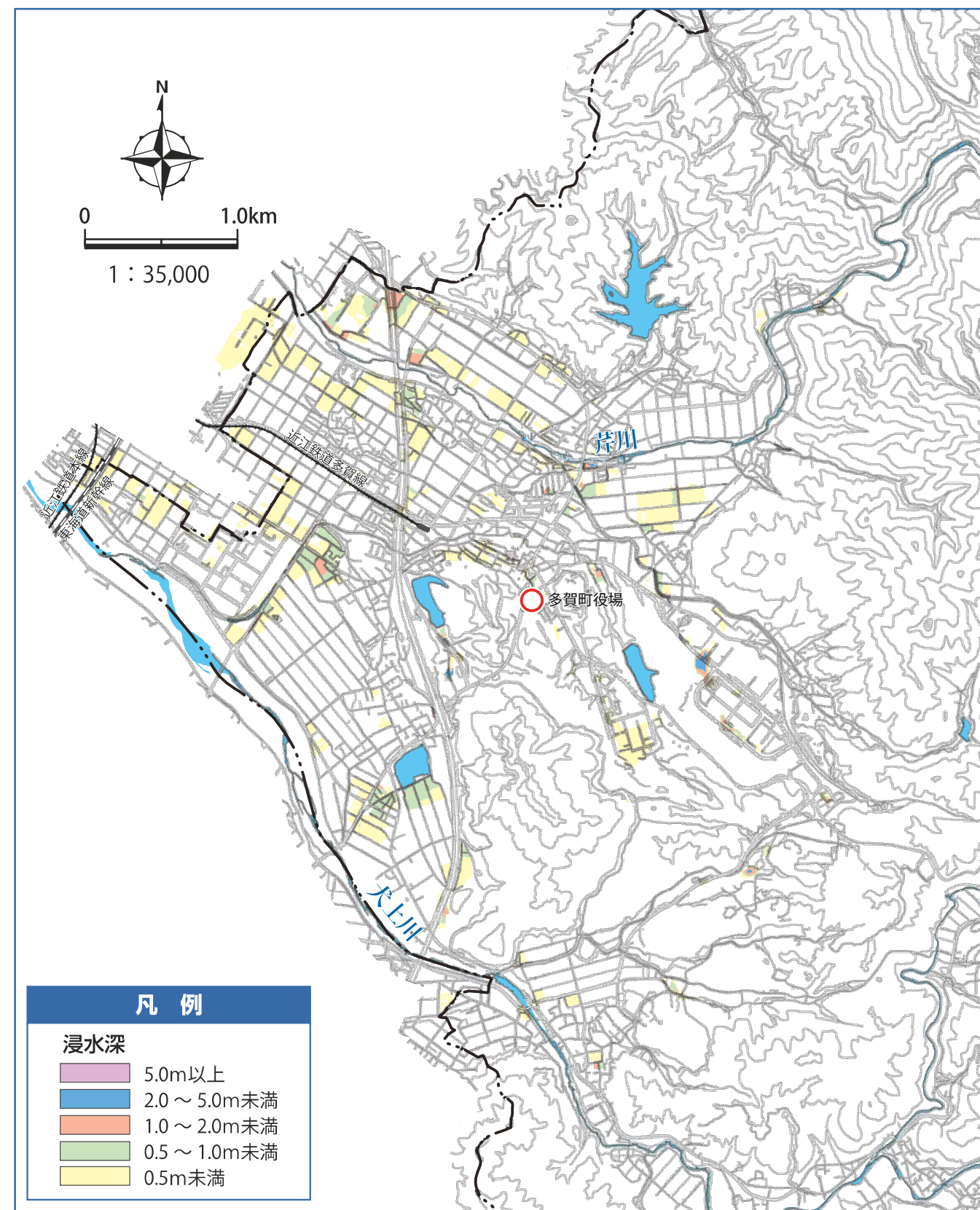
この地図は、想定最大規模降雨（芹川流域の12時間総雨量698mm）時に、芹川が氾濫した浸水深を示したものです。



出典：淀川水系 芹川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模） 滋賀県（平成31年3月）

5. 地先の安全度マップ（10年に一度の大雨を想定）

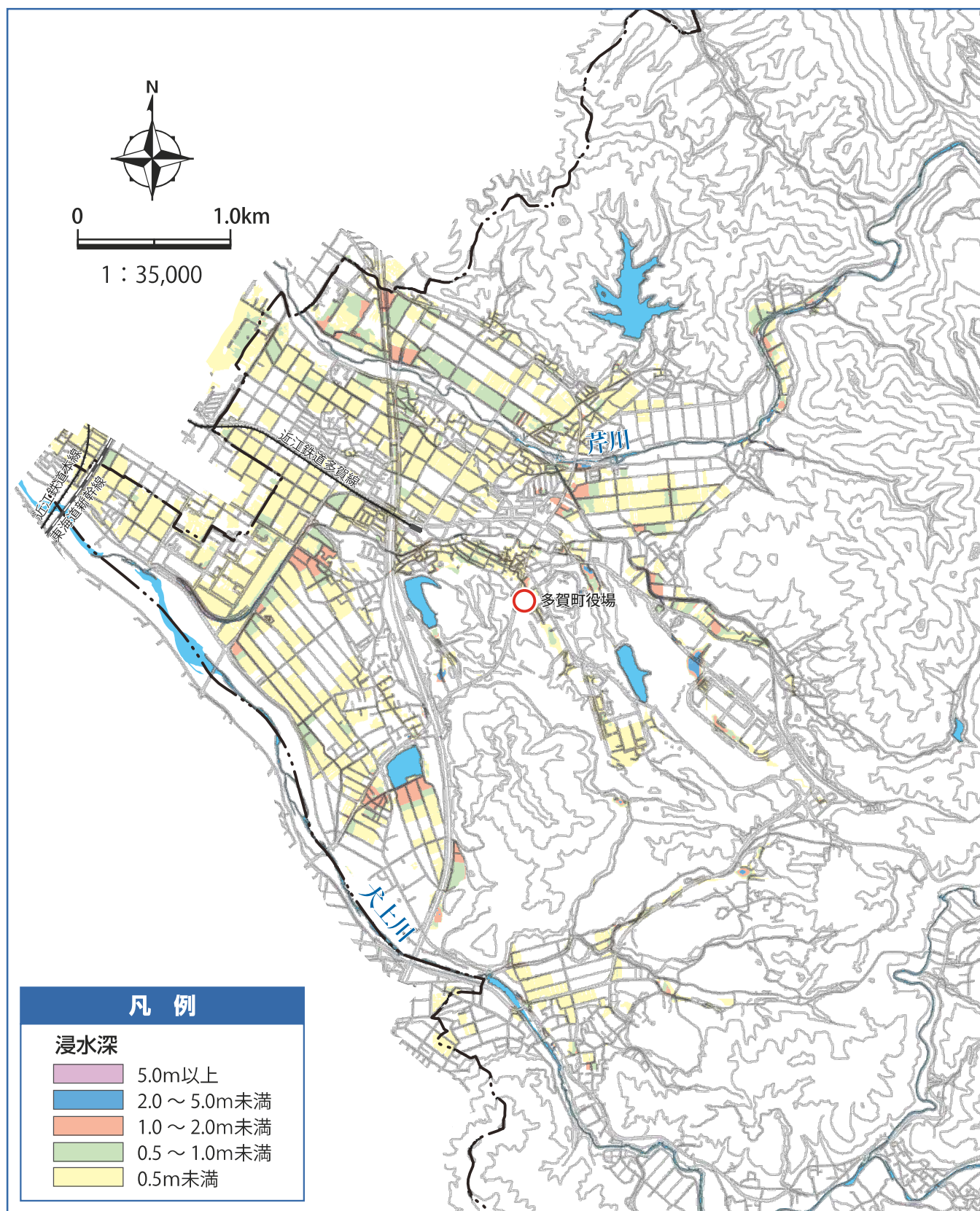
この地図は、10年に一度の大雨（170mm/24hr、最大50mm/hr）時の浸水深を示したものです。



出典：最大浸水深図 10年確率 滋賀県（令和2年3月）

6. 地先の安全度マップ（100年に一度の大雨を想定）

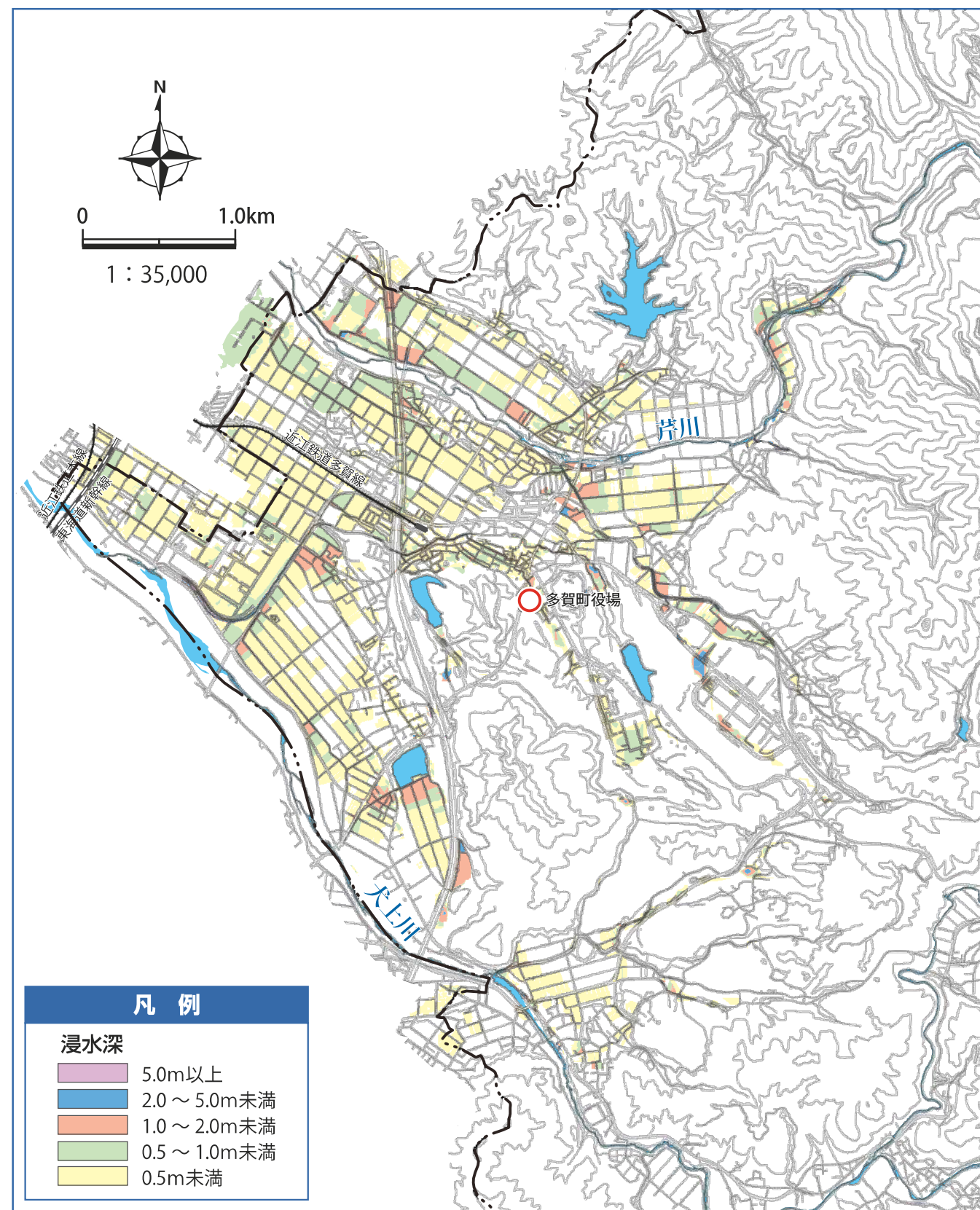
この地図は、100年に一度の大雨（529mm/24hr、最大109mm/hr）時の浸水深を示したものです。



出典：最大浸水深図 100年確率 滋賀県（令和2年3月）

7. 地先の安全度マップ（200年に一度の大雨を想定）

この地図は、200年に一度の大雨（634mm/24hr、最大131mm/hr）時の浸水深を示したものです。



出典：最大浸水深図 200年確率 滋賀県（令和2年3月）

8. 土砂災害について

土砂災害には、がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）、土石流、地すべりの3種類があります。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

急な斜面が突然崩れて、家や道路に被害をもたらします。一瞬のうちに起こり、がけの上も下も危険です。



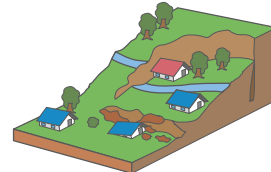
土石流

山から崩れてきた土や岩が、水と一緒に谷を流れてくる現象です。車と同じくらいの速さ(40km/h程度)で流れてきます。



地すべり

「地すべり」は、雨や地下水などをきっかけに山すそや丘陵地などの斜面で、地中のすべりやすい地層を境に地面が動き出す現象です。



土砂災害の前兆現象



土砂災害警戒情報

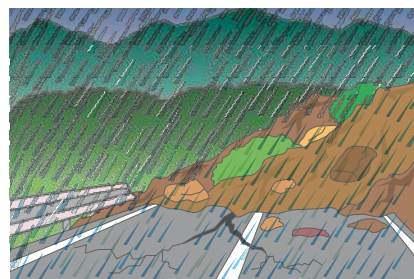
土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まったとき、滋賀県と彦根地方気象台が共同して発表する情報です。この情報が発表されたら、土砂災害が非常に起こりやすくなっていますので、雨の強さや土砂災害の前兆現象などに注意し、早めに避難しましょう。

土砂災害による集落の孤立化

土砂災害などにより交通手段が遮断されると、山間部では人の移動や物資の流通が滞り、集落全体が孤立します。公的な救助・救援が期待できない中、地域内での助け合いが重要になります。

孤立化したらどうなる？

道路が寸断されると救助部隊の進入や救援物資の輸送がままならず、ライフラインの復旧にも支障をきたします。また、通信網が遮断され外部との連絡が取れなくなることも考えられます。



事前に家庭や集落で備蓄を！

外部からの支援がしばらく届かないことを想定し、家庭や地域の自主防災組織で協力し、備蓄を進めましょう。



なんとか外部と連絡を！

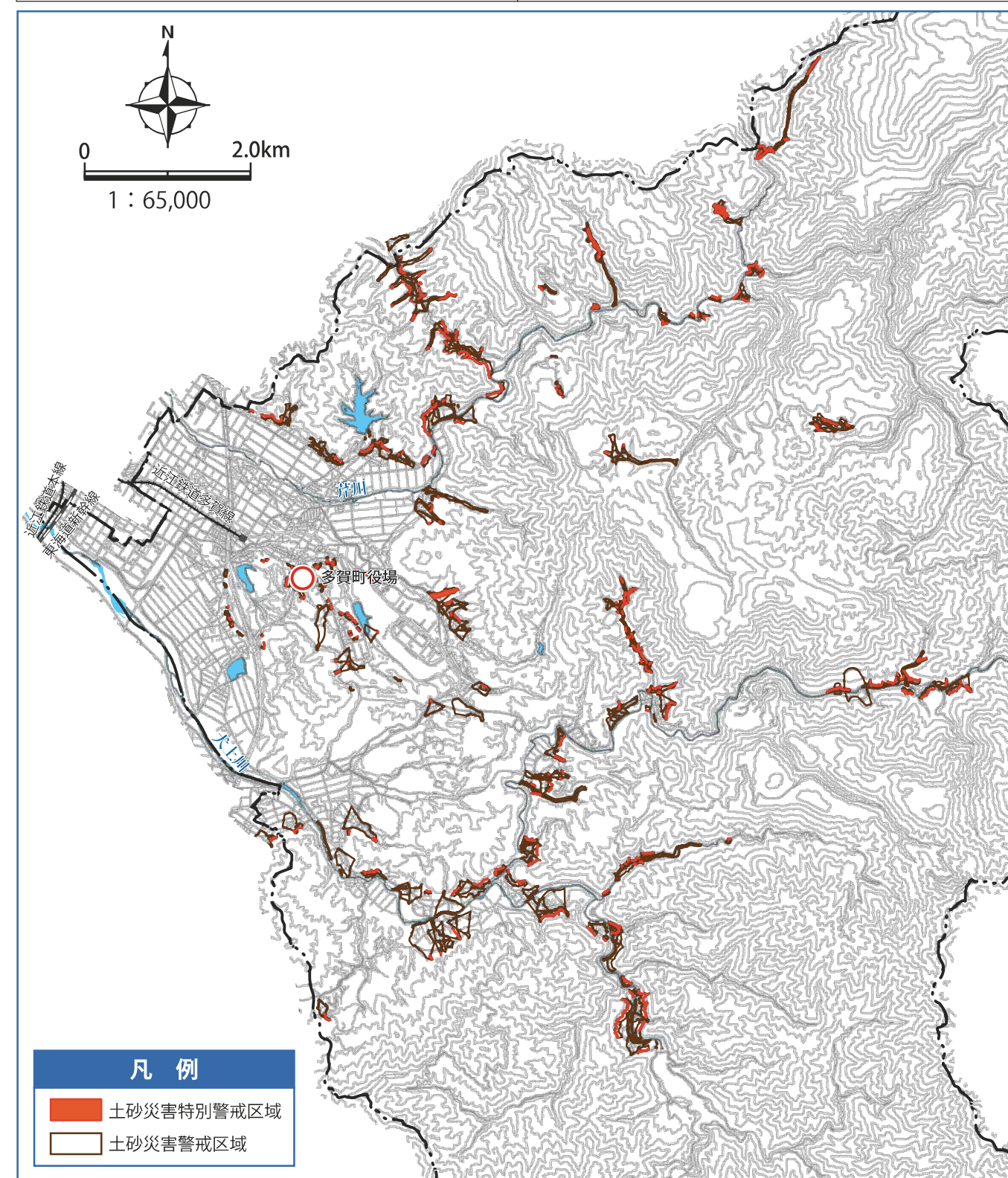
通信網が遮断されても、安全に気を付けて徒歩で直接連絡を取りに行ったり、地面に文字を書いてヘリコプターに発見してもらうなど、様々な手段を試みましょう。



9. 土砂災害（特別）警戒区域

この地図は、土砂災害防止法に基づいて指定された「土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域」を示したものです。

土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危険が生じるおそれがある区域	土砂災害防止法に基づいて指定される、土砂災害のおそれのある区域



凡 例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

出典：土砂災害（特別）警戒区域 滋賀県（令和2年12月指定分まで記載）

10. 風水害時に役立つ情報、とるべき行動

風水害時には自ら情報を収集し、避難が必要か考えて行動しましょう。

情報収集

町からの防災情報
避難情報などに注意を!

日常の備え

総合防災マップ
危険場所などの再確認を!

情報収集

テレビ
携帯電話
ラジオ
パソコン

雨量・河川水位情報などの収集を!

日常の備え

非常持出品
袋に入れて、いつでも出せる場所に置いておきましょう。

警戒レベルととるべき行動

警戒 レベル	避難情報など	住民の皆さんのとるべき行動	警戒レベル相当情報 気象情報	危険度
レベル 1	早期注意情報 (警報級の可能性)	災害への心構えを高める		小
レベル 2	大雨注意報 洪水注意報	自らの避難行動を確認 防災マップなどにより、自宅などの災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。		
レベル 3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難 高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	大雨警報 洪水警報	
レベル 4	避難指示	危険な場所から 全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	土砂災害 警戒情報	
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~				
レベル 5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動などする。 ※災害が発生・切迫した段階での行動のため、本行動をとったとしても身の安全を確保できるとは限りません。	大雨特別警報	大

### 情報の入手先

#### メール

**多賀町総合情報配信システム【登録必要】**  
防犯・火災・災害など [touroku@taga-town.jp](mailto:touroku@taga-town.jp)  
【登録方法】右のQRコードを読み取り、空メールを送信し、登録してください。

**しらがメール【登録必要】**  
避難情報、河川水位情報、土砂災害警戒情報など [entry@pref.shiga-info.jp](mailto:entry@pref.shiga-info.jp)  
【登録方法】右のQRコードを読み取り、空メールを送信し、登録してください。

**緊急速報メール（エリアメールなど）【登録不要】**  
町内に滞在している人の携帯電話に自動的に情報が配信されます。

#### インターネット

**多賀町ホームページ**  
防犯・火災・災害など  
<https://www.town.taga.lg.jp/>

**滋賀県防災ポータル**  
県内の防災関連情報や関連サイトなど  
<http://dis-shiga.jp/>

**滋賀県土木防災情報システム**  
河川の水位情報や土砂災害警戒情報など  
<http://shiga-bousai.jp/>



#### 気象庁

気象情報やキキクル（危険度分布）など  
<http://www.jma.go.jp/>

キキクル

検索

#### キキクル（危険度分布）

気象庁では、大雨による災害発生の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示する「キキクル（危険度分布）」を公表しています。



色が付いている箇所はこんなところに注意

土砂災害警戒区域などがけ・溪流付近

周囲より低い場所

洪水浸水想定区域  
河川沿い



#### テレビやラジオ

NHKデータ放送など、リモコンのdボタン（データ放送）を押すと、テレビ画面で情報を確認できます。



#### 多賀町有線放送・広報車など

避難情報、避難所情報など

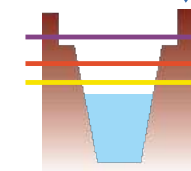


#### 多賀町総合情報配信システム

050-5533-8172

#### 河川水位について

河川の水位は、避難の目安となる情報です。



#### 水位観測点における設定水位

氾濫危険水位	氾濫の起こるおそれがある水位
避難判断水位	住民の皆さんが避難を判断する水位
氾濫注意水位	氾濫に関する情報に注意する水位